

九州地方整備局の事故発生状況

平成26年3月末

[年度別事故発生状況]

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
発生 件数											
労働災害	(1) 34	(3) 24	(2) 31		(4) 36	(2) 28	(1) 35	(2) 24	(3) 20	(2) 20	(1) 21
公衆災害	(1) 36	(1) 31	(2) 45	(1) 65		33 25	29	33	26	(1) 11	24
合 計	(2) 70	(4) 55	(4) 76	(1) 106	(4) 69	(2) 52	(1) 64	(2) 57	(3) 46	(3) 31	(1) 45

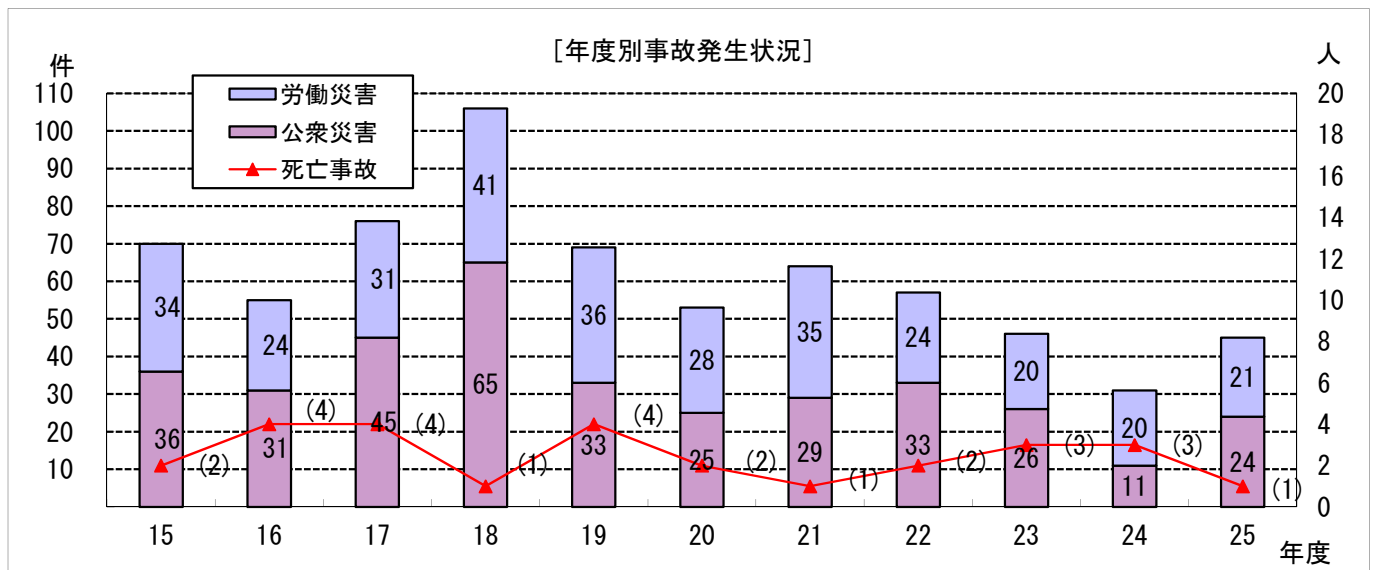
※河川、道路、公園事業における事故（港湾空港部、営繕部除く）

※（ ）書は、死者数で内書。

※直轄工事において発生したすべての事故を計上。

※労働災害とは、工事作業が起因して、工事関係者が死傷した事故。

※公衆災害とは、工事作業が起因して、第三者が死傷または第三者に損害を与えた事故。



平成24年度の事故について

・平成24年度は31件の事故が発生（労働災害:20件、公衆災害:11件）

・死亡事故は3件（前年比 同件数）

①観測所建屋屋上のポールで無線アンテナ取付金具を取り付ける作業中、安全バンドのフックが外れた状態で建屋屋上に落下し、死亡した。（高所作業を行う作業員に対して、安全帯の適正な使用を徹底していなかった事が要因）

②残土運搬を行っていたダンプトラックが交差点を右折する際、自転車にて横断していた女性と接触し、死亡した。

（運転手への交通事故に対する安全教育を徹底していなかった事が要因）

③低水護岸の法肩付近で集草及び刈り残しを鎌で刈り取る作業を行っていたところ、河川に転落し、死亡した。（作業員への監視が行き届いていなかった事、単独作業となっていた事が要因）

平成25年度 事故防止対策

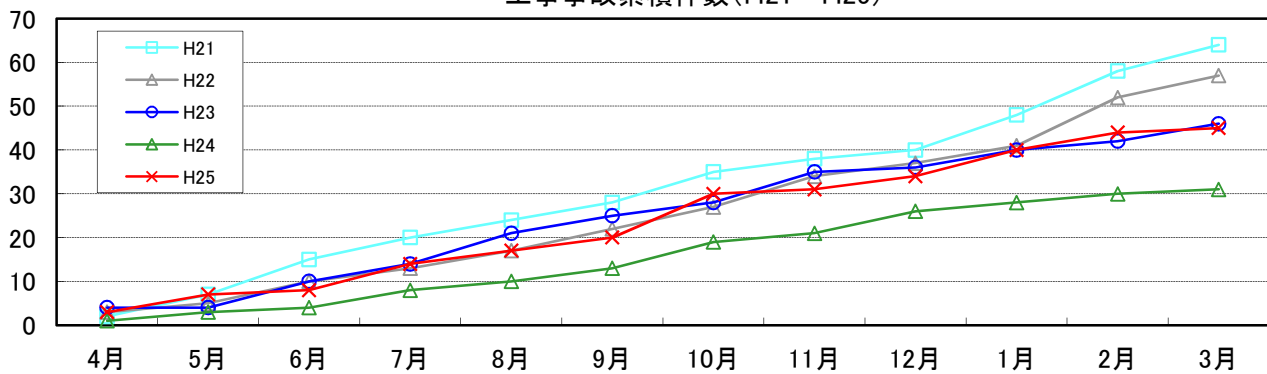
九州地方整備局の工事事故防止目標:事務所事故ゼロを目指して！

事故防止重点項目
①墜落・転落、飛来・落下事故の防止 ②架空線・地下埋設物切断事故の防止 ③建設機械の接触防止
事故防止対策
①受発注者間の安全パトロールの実施 ②現場内(元請・下請等)の情報共有 ③作業手順書の遵守 ④受発注者間の意見交換会による事故撲滅 ⑤安全教育、新規入場者教育の徹底

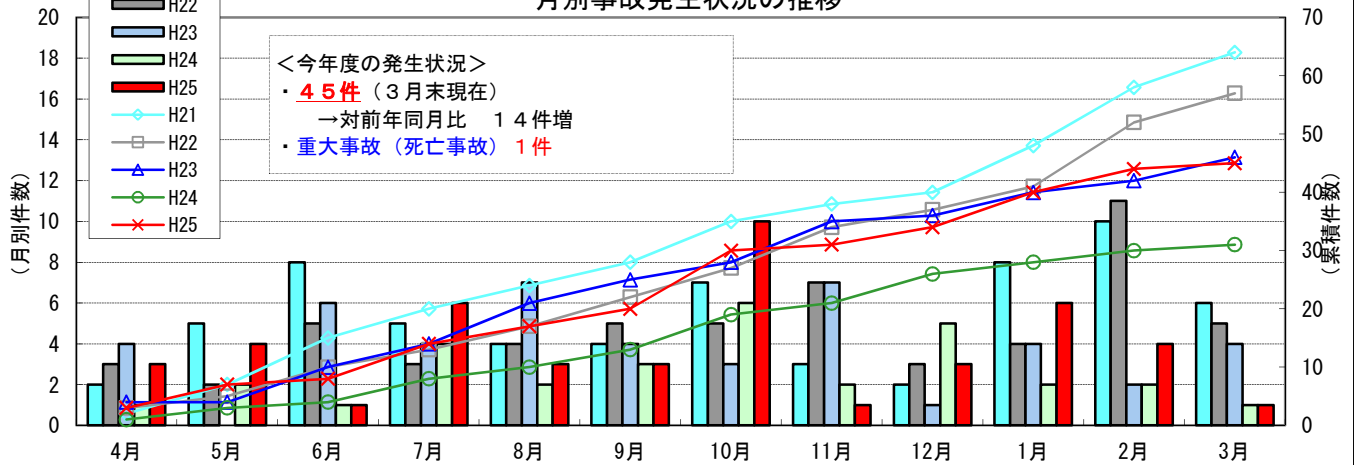
平成25年度の事故発生状況

平成26年3月末

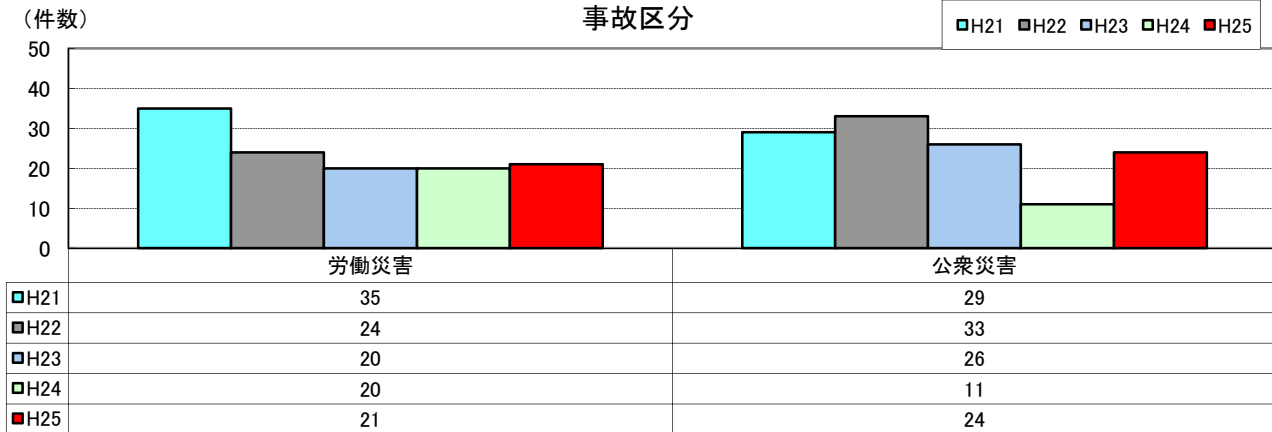
工事事故累積件数(H21～H25)



月別事故発生状況の推移



事故区分



事故形態

